

	組合ニュース ぐんだいたいタウン 号外 2018.3.5 発行 ★ このニュースは、組合費と寄付金で作られています。★
群大ノ未来ツクル 新しい現実 新しい挑戦	群馬大学教職員組合 [URL] http://web.union.gunma-u.ac.jp/ [電話/FAX] 027-220-7431 [e-mail] gu-union@ml.gunma-u.ac.jp

団体交渉速報

出題手当新設に前向き回答 副課長・副事務長の待遇見直しへ

3月5日に、群馬大学教職員組合は国立大学法人群馬大学と団体交渉を行い、本学教職員の労働条件について協議しました。

詳しい内容は次号の本紙「ぐんだいたいタウン」でお伝えしますが、以前から組合が主張していた入試の**出題手当の新設について前向きな回答**が得られました。附属病院の医療事故による財政的影響が残る中での大学法人の英断を、組合としても評価するものです。今回は出題のみとありますが、大学法人は採点や試験監督業務についてもその必要性を認めており、組合は今後も引き続き入試手当の拡充を訴えていきます。

さらに特筆すべきは、昨年度より団体交渉で取り上げていた本学の副課長・副事務長の管理職扱いについてです。管理職扱いになると管理職手当が支給されますが、代わりに超過勤務手当がなくなり、昇進したのに収入が下がるというねじれ現象が指摘されています。大学法人群馬大学は、これらの役職の労働時間と権限について意見照会・実態調査を行い、**実際には管理監督者とはいえない状況があることから、その待遇を見直す**ことを明言しました。組合はこの点に関しても、大学法人の誠意ある対応を評価するものです。

残念ながら、組合と大学法人の主張が対立する場面も多くあります。退職金の支給水準の引き下げ問題、人事院勧告に伴う給与改定の実施時期(遡及)の問題、有期雇用職員の無期転換の問題、等は双方の主張が平行線をたどりました。

それでも今回の団体交渉で一定の前進が見られたことは本学の教職員にとって明るいニュースです。

今後とも、群馬大学教職員組合にみなさまの力を貸してください。

